

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ヨシケンコーポレーション	代表者	代表取締役 河本 英樹	法人・ 事業所 の特徴	グループホームいしい・デイサービスいしい・小規模多機能ホームいしい和泉・グループホームいしい和泉 小規模多機能ホームいしい・住宅型有料老人ホームいしい 法人理念：「3つの心」 初心を忘れない・素直な心・思いやりの心 小規模多機能ホームいしい理念： なじみの生活をいつまでも。ともに出来ることを支えあい歩みます。
事業所名	小規模多機能ホーム いしい	管理者	宇都宮 孝文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	5人	人	1人	3人	1人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>今回のサービス評価時には、事前（8月、12月の運営推進会議の際）に現在の職員配置人員および現在取り組んでいる事を分かりやすくお伝えした上で、「外部評価地域関わりシート①」の記入をお願いするようにします。</p>	<p>10月の運営推進会議の際に小規模多機能型居宅介護、サービス評価について説明をさせて頂いたが職員の配置人員、現在取り組んでいる事について分かりやすくお伝えすることが出来なかった。</p>	<p>地道に問題点を解決している。前回の時の課題を次の時にできるように。</p>	<p>運営推進会議の際に小規模多機能型居宅介護、サービス評価について説明をし、職員の配置人員、現在取り組んでいる事についても分かりやすく説明をするようにします。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>継続し、地域の皆様に事前に案内した上で、定期的に行事を開催し、まずは施設に足を運んでいただく機会を設けていきます。</p> <p>玄関ホールの灯りの点灯、日中の自動ドアの作動を心がけ、事業所への入りやすさ、明るく活気のある雰囲気維持に努めていきます。やむを得ず玄関の自動ドアの作動を止める場合は張り紙などでお知らせをします。</p> <p>また、月に一度の利用者会議の際にご利用者様に施設の環境面についても意見をお聞きしていきます。</p>	<p>継続し地域の皆様に案内を出し、施設に来て頂くことが出来ました。</p> <p>事業所への入りやすさ、明るく活気のある雰囲気の維持にも努めることが出来ました。</p>	<p>事業所に入ってすぐに職員が出てこない事がある。パツと出てきてもらえるようにして欲しい。</p>	<p>現状を維持しつつ季節に合わせた飾り付け等変化をつけていく。</p> <p>来客時すぐに対応ができるように自動ドアが開いた際職員が気づけるようにします。</p> <p>引き続き利用者会議の際にご利用者様に施設の環境面についても意見をお聞きしていきます。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>平成28年8月の運営推進会議より会場を事業所にさせていただき、引き続き多くの職員が参加させて頂くことで皆様に顔を覚えていただくようにしていきます。</p> <p>同時に地域の行事やサロンにも積極的に参加させて頂き、事業所を知って頂けるよう、職員から挨拶をさせて頂くように心掛けます。</p>	<p>引き続き運営推進会議の会場を事業所にし、多くの職員が参加することが出来た。</p> <p>地域の行事にも積極的に参加をしたり認知症カフェを行うことで地域の方々に事業所を知って頂くことが出来ました。</p>	<p>地域と事業所の関りできている。</p> <p>地域のイベントに参加されていて周知されている。</p>	<p>地域の行事への参加を引き続き積極的に行い、地域の皆様に顔を覚えて頂けるようにしていきます。</p> <p>運営推進会議の中で、地域の行事に参加した時の様子も報告するようにしていきます。</p>

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の当該地区の行事等を民生委員の方等に聞くなどして調べ、一緒に参加や近辺を散歩するなどし、地域とのかかわりを増やしていけるようにします。	事業所周辺の行事には参加することが出来たが周辺以外の地区の行事については確認し参加することが出来なかった。	地域の行事やイベントには参加されている。	利用者の担当民生委員さんとの協力体制（利用者の安否確認等）を作り、地域との関りを増やしていけるようにします。
E. 運営推進会議を活かした取組み	小規模多機能型居宅介護事業所がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取組みを行っているのかを8月・12月の運営推進会議の際にご説明していくようにいたします。	10月の運営推進会議にて小規模多機能型居宅介護事業所について説明を行った。	分かりやすい説明を受けた。運営推進会議で出た意見に対し、真摯に対応されている。	引き続き年に1度は小規模多機能型居宅介護事業所がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取組みを行っているのかを説明していくようにいたします。
F. 事業所の防災・災害対策	年度当初に防災計画の説明、振り返りをして、防災訓練に活かしていきます。 また、一度運営推進会議でもご案内をし、具体的な内容を説明したのち参加していただく。参加後は振り返りの場を地域の方と持てるようにし、自地域の防災について相談をしていきます。	防災計画について説明が出来なかった。また、運営推進会議の場での防災訓練の開催が出来なかった。	定期的に防災訓練している。参加もしているが、防災計画については知らなかった。マニュアルについても見たことがない。 災害時頼りになってもらいたい。地域の一時避難場所としてなってもらいたい。 見ているだけだったが防災の意識は高い。地域の高齢者の為にも頼りになる。	防災計画について運営推進会議の場で説明を行います。 ご案内をし、具体的な内容を説明したのち、運営推進会議のなかで施設の防災訓練に参加していただき振り返りの場を地域の方々と持てるようにします。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 15 日 ( 8 : 40 ~ 9 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいフェイスシートの周知・活用。以前からの情報を新しい様式で作り直す。</li> <li>・フェイスシートを活用し利用者様の情報を具体的に支援項目が分かりやすい様にし、いつでも閲覧・把握できるようにする。</li> <li>・「ひもときシート」の活用に努め、利用者様の情報を共有する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいフェイスシートを作成し、活用している。</li> <li>・「ひもときシート」について、活用が出来ていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	4	5	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	8	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	2	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前に入ってきた情報は目を通し気になる点は確認するようにしている。新しいフェイスシートの様式は作成できている。</li> <li>・「個別別介護状況一覧表」を作り分かりやすいよう閲覧できるようにしている。状態が変わった時は書き換え、個々の申し送りも合わせて確認できるようにしている。</li> <li>・声掛けは出来ていると思うが、全ての利用者様にはできていない。</li> <li>・個人のフェイスシートを作り朝のミーティングで話す場を持ち、今何を望んでいるか何が出来なくなってきているかを全員で周知できる様にしている。</li> <li>・フェイスシートから得られた情報を基に声かけや、会話が出来るような環境作りに努めている。</li> <li>・ご利用者の情報共有については活用を含め、努力している。本人様が慣れていない時期に声かけ等もできている。</li> <li>・情報集めをして利用者様に関わろうとすること。前回よりカンファレンスシートを活用できている。</li> <li>・本人様の様子を見ながらかかわりを工夫できている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひもときシート」の事が理解していない。活用できていない。</li> <li>・新しいフェイスシートの様式は出来ているが、作り直しは出来ていない。</li> <li>・関係づくりの配慮をどうやったらいいのかわからない。</li> <li>・初期段階において現場スタッフが家族様と接触する機会がほとんどない。</li> <li>・関係作りの為の配慮。</li> <li>・途中経過なものなどの進行具合の情報共有。</li> <li>・利用者との関りにばらつきがある。※リスクの高い利用者についてしまう為。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の統一化・共有を図る為、利用前後に話し合いの機会を設ける。</li> <li>・24 時間シート等のセンター方式を活用し、情報を共有していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 17 日 ( 8:40 ~ 9:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	2人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員会にて対象者2人に対してモニタリング結果を通したカンファレンスの実施。</li> <li>・モニタリングにおける具体的目標の見直し、計画の妥当性についての再検討をケアマネ中心に行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員会にて対象者1名のカンファレンスを行っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	3	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	3	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	6	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	5	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会で対象としたい利用者を取り上げて目標を立てている。</li> <li>・カンファレンス等で検討したことについては実行できている。</li> <li>・職員会のミーティングで2人ではないが1人のカンファレンスを実施できている。</li> <li>・ミーティングで発言し、振り返り次の対応に活かしている点。</li> <li>・モニタリングの見直しなどはできている。定期的に更新されるようになった。</li> <li>・前月の対象者のモニタリング、その月の対象者のカンファレンスを行っている。</li> <li>・担当の利用者の方は把握できているが、全員は把握できていない面もある。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の目標 (ゴール) を理解できていない。</li> <li>・かかわった内容を話し合うこと。ミーティングで職員がそろうことが難しいため。</li> <li>・モニタリングにおける目標の見直し。</li> <li>・プラン変更の把握。ケアマネを中心とした計画の再検討。</li> <li>・本人様の目標。本人様一人一人となるとわかっていない。</li> <li>・カンファレンスの実施。</li> <li>・モニタリング後の検討が出来ていない時がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス、継続して行っていく。内容を継続できるように各職員が自覚を持つ。</li> <li>・モニタリング様式の見直しを行い、プランに反映できるようにしていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 ( 8 : 50 ~ 9 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	5人	1人	10人

前回の改善計画
フェイスシートの様式は作成中。今の状況変化の申し送りが出来ていない事があるので申し送り用紙の変更、個々で確認・全体で確認を繰り返し個々の意識改革につなげモチベーションをあげる。 作成できたフェイスシートから生活記録に挟み常時閲覧できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・個別申し送りの用紙、ファイルを作り情報共有にため活用している。 ・個別申し送りを確認できている職員、できていない職員がいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	4	4	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	1	1	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	3	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の状態に合わせた食事形態の実施・入浴方法を実施している。</li> <li>・個別申し送りの活用</li> <li>・個人で一覧にした申し送り用紙の作成。情報共有ができるように全職員が知っておいた方がいい事は申し送りしている。</li> <li>・本人様の気持ち、体調の変化についてはその都度共有していると思う。</li> <li>・本人様に合わせた基礎的な介護はできていると思う。</li> <li>・その人に合わせた介護を心掛けている。気づいた事、話に出た事は情報共有できるよう伝えている。フェイスシートの様式は作成済。個人の申し送り用紙を作り、申し送りで確認している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の体調に合わせての対応</li> <li>・以前の暮らし方を多く把握する事。意思疎通ができない利用者や家族と疎遠な利用者に対して把握が難しいため。</li> <li>・スタッフが少人数な場合、支援が行き届かない所がある。</li> <li>・全体での確認。統一したチームケア。</li> <li>・「以前の暮らし方」を10個以上把握というのはできていない。※家族様との会話が少ない、面会のタイミングが合わない。</li> <li>・声にならない声をどうやって言語化するか。</li> <li>・個人の申し送りを確認できている職員とできていない職員がいる。チームでモチベーションを上げる必要がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別申し送りファイルを各々が確認して行くよう声をかけていく。</li> <li>・介護状況一覧表は変化があった際、ケアマネが記入するようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 22 日 ( 8 : 40 ~ 9 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯、小島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	3 人	4 人	10 人

前回の改善計画	・ケアマネを中心にホーム周辺の行事・地域資源を調べ参加、活用できるようにする。また、通いの方の地区民生委員の確認、利用の際に自宅等利用外の様子をお聞きし、把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ホーム周辺の行事については積極的に参加できている。 ・通いの方の地区については民生委員・行事等把握できていない。 ・独居の方で民生委員と連絡を取れている方もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	2	3	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	3	2	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	4	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	3	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族と連絡を密にして利用者様に変化があればすぐに連絡を取っている。 ・盆踊り大会や運動会等地区行事への参加や、そうめん流し夕涼み会等当施設での催しに地域の人が参加して下さり支援の場を広げている。 ・利用していない時は何をされているかを家族・近隣の方に確認した。 ・これまでの資料・データを参考に生活スタイル等はある程度理解している。 ・生活スタイルを崩さないよう通い・訪問の時は気にかけている。 ・断定ではあるが民生委員、近所の方と関りを持っている方もいる。家族様ともまめに連絡を取り独居生活を支えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用時間以外の把握。事業所利用以外はプライベートにかかわることだと思ふのでふれにくいと思う。 ・地域の人々との情報のやり取りにズレがあるのでは ・余裕がなく、通いの方の地域資源の活用と把握。 ・本人様の暮らしに必要な民生委員や地域資源の把握。 ・きっかけがなく地域との関りが薄い。 ・ホーム周辺の行事は把握できるように努めているが、通いの方の地区に関しては調べる時間が摂れていない事もありほとんど知れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続きホーム周辺の行事に参加するようにし活用できるよう参加の幅を広げていく。 ・家族様に自宅での様子をお聞きし記録に残し、家族様の気持ち等も把握していけるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 24 日 ( 8 : 50 ~ 9 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	2人	10人

前回の改善計画
ケアプランに沿った、新しいモニタリング様式を作成し個々の ~したい・目標が分かり、利用者様担当職員・介護支援専門員と月末評価を継続していく。その方に応じた支援に対して「できているか」「できてないか」と○・×で明確に分かる月表も作成し、月末評価と一緒に定期的にミーティングをとうして振り返り、現サービスが適切か評価に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・月表の作成・定期的なミーティングが行えていない。 ・毎月モニタリングは行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	3	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	5	2	2	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	2	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者の用途に応じて通い・訪問・泊まりサービスを組み合わせている。 ・訪問、配食等の利用者様のニーズに合わせた柔軟な対応ができている。 ・ニーズに応じての通い・訪問・宿泊の提供。担当利用者様のモニタリング。 ・日々のかかわりから本人様の変化をミーティングで共有することはできている。職員間で気になっていることの変化について話をするよう努めている。 ・モニタリングは毎月行えている。その方のニーズに応じて、利用を提供をしている。変化があれば生活記録、申し送りで伝え共有している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・記録を振り返って見直すこと。記録はその月のみが完結となっているため職員同士意識を持ち直す必要があるかと思う。 ・訪問において時間の制約により十分な支援ができていない。 ・月表の作成、定期的なミーティング。 ・地域の資源について理解できてなく、使ったの支援が出来ていない。 ・きっかけがなく、地域の方との関係が薄い。 ・モニタリングは行えているが次につなげていない。月表の作成は出来ていない。定期的なミーティングは行えていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・継続して月末の評価を行っていき、定期的なミーティングを行い、振り返り次回に繋げていく。 ・地域資源について管理者から説明し、職員全員に理解して頂き、資源を使っの支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 ( 8 : 45 ~ 9 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	5 人	3 人	3 人	10 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェの開催に向けて計画を立て、地域の方への宣伝も行っていく。</li> <li>・玄関ホールの照明を点け少しでも明るく入りやすい環境に努めていく</li> <li>・行事の際のチラシ配布は継続して行っていく</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェを 11/30 に開催で準備している。</li> <li>・行事の際、継続してチラシの配布を行えている。</li> <li>・毎朝夜勤者が玄関ホールの照明をつけるようにし、明るい環境作りに努めている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	5	2	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	5	4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	1	4	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	4	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の盆踊り・運動会に職員・利用者が参加している。</li> <li>・運営推進会議等の開催。医療機関や家族との連携。</li> <li>・玄関ホールの照明を朝夜勤者が点けて自動ドアのスイッチも入れ明るい環境作りに努めている。</li> <li>・保育園の子供たちとの交流は年 2 回行っている。</li> <li>・利用者様の状況に応じて各機関と連絡とれている。</li> <li>・行事の際のチラシ配布は継続して行っている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション不足の為、地域とのつながり。</li> <li>・認知症カフェの開催・宣伝。</li> <li>・他事業所との会議・自治体等との会議には参加していない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェを継続して開催していく。</li> <li>・町内の回覧板等で情報を取り参加できる地域の行事を増やしていく。</li> <li>・継続して行事の際チラシの配布を行い、地域の方に来て頂けるようにしていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 ( 8 : 50 ~ 9 : 00 )

7. 運営

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	2 人	4 人	10 人

前回の改善計画	意見・要望を書いて頂く用紙を作成中の為、用紙ができ次第家族様から定期的に意見を頂けるよう配布していく。来所の際、意見 BOX に入れていただくようにする。地域の方にこちらから積極的に挨拶・声掛けをし、相談しやすい環境作りをしていく。防災訓練なども地域に対し参加の声掛けをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見・要望を書いて頂く用紙作成できておらず、家族様へも配布できていない。</li> <li>積極的に地域の方々に挨拶できている。</li> <li>防災訓練の際、チラシを配布し、参加の声掛けを行っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	2	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	0	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	2	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	3	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>行事には地域やボランティアが一体となり参加が来ている。苦情があればすぐに朝礼で伝え対策を行っている。</li> <li>行事等で来所頂いた際は、意見書の記入をお願いしている。</li> <li>地域の方への挨拶。苦情が出た際の対応方法の共有。</li> <li>利用者様・家族様から意見・苦情があった場合はすぐに運営に反映できるよう報告・相談を行っている。</li> <li>苦情の都度改善し職員間申し送りなどで周知している。</li> <li>外に出る際、出勤・退社時は地域の方にあいさつするようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連絡会 (運営推進会議) は一部の職員の参加になっている。勤務の関係で日中動ける職員になってしまう。</li> <li>地域の方に対しての声かけ等。</li> <li>意見・要望を記入する用紙の作成と配布。地域と協働した取り組み。</li> <li>地域と協働した取組という点に関しては、積極的に行っていない。</li> <li>日頃から地域との関係が出来ていない為地域に必要とされる拠点ではない。</li> <li>地域との協働については一方的なお知らせだけになっている事もある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>継続し地域の方への挨拶をしていき交流を持ち地域に必要とされる拠点作りを行っていく。</li> <li>家族様と積極的にコミュニケーションを取るようしていき意見・苦情が言いやすい関係作りに努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 1 日 ( 8 : 30 ~ 9 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	3 人	1 人	1 人	10 人

前回の改善計画	・ 1 ヶ月間の再確認については職員会の時ではなく朝の申し送りの際に行い継続していく。どこからがヒヤリハットになるかを明確にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 1 ヶか月後の再確認については予定表にも記入し毎回行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	3	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	3	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	2	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	1	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ ヒヤリハット・事故報告書は朝礼で 3 日間申し送り周知徹底している。対策を話し、1 か月後に振り返りを行っている。 ・ 身体拘束はしていない。一人一人プライバシーが守れる様気配りができている。 ・ 資格取得に必要な研修の参加。事故報告書は 1 か月後に振り返りをしている。 ・ 職場内の研修には参加している。その都度メモを取りどんな事があったのかどんな事を継続していくのか再確認している。 ・ 資格取得、積極的に研修に参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 些細な事は見過ごされているのか、ヒヤリハットに比べて事故報告の件数が多い。 ・ 地域連絡会への参加 (限られた職員しか参加できていない)。スキルアップ研修への参加。 ・ 日程調整が難しく、研修など不参加。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 継続して一か月後の再確認を行っていく。 ・ ヒヤリハットが報告しやすいように様式の見直し。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 3 日 ( 8 : 30 ~ 9 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 宇都宮、安倍、宮川、宮田、渡邊、山下、大野、高橋、馬越、河本、林、土井、浅田、小幡、岩崎、川瀬、佐伯

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	5 人	5 人	10 人

前回の改善計画	・「成年後見制度」についての勉強会を実施し、職員の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「成年後見制度」についての勉強会を実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	2	8	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	3	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	7	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期的に身体拘束や人権に関する勉強会を実施している。 ・身体拘束・虐待・プライバシーの保護・個人情報の管理。 ・①②に関しては勉強会を行っている。不適切なケアにならないよう声かけ話し合いをしている。 ・身体拘束はしていない。一人一人プライバシーが守れる様気配りができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度に関する勉強会には機会がない事もあり参加できていない。 ・身体拘束はしていないが、利用者様 2 人以上が同時に動き出した時など待つて頂くことがあるので身体拘束にあたらぬか心配。 ・「成年後見制度」と聞かれて答えが出る職員は少ない。成年後見制度は必要な利用者が少なく、必要な方は家族様に一任しているため、事業所で手続きをすることが今の所必要がないので。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・成年後見制度について年間の勉強会の計画に入れるようにする。 ・身体拘束について、勉強会の際に普段のケアを見直す機会を設け、普段の対応が虐待に繋がっていないか考えるようにする。	